化学工学会 | 公的機関求人·公募 | web 掲載用書式

東北大学 工学研究科 超臨界溶媒工学研究センター 教授公募		
募集人員	教授 1名	
任期	なし。	
専門分野	化学工学 バイオマス等の資源変換に関わる高圧・超臨界流体の反応・分離プロセスの研究・教育を行う人材を募集する。具体的には、水やイオン液体といった環境調和型溶媒を利用した資源変換・分離濃縮プロセスについて、密度やイオン積などの溶媒としての基本物性の特徴を十分考慮した反応・分離場設計に加え、反応速度論に基づく反応装置設計も行う『プロセスのシステム開発』ができる人材を求める。なお、農工連携や未利用・未活用資源の利用による地方創生へ寄与できることも条件とする。	
担当授業科目	・学部:化学工学基礎,分離工学,化学・バイオ工学セミナー, 化学・バイオ工学研修,化学・バイオ工学実験,卒業研修など ・大学院:超臨界流体工学,化学工学解析学特論,化学工学セミナー, 化学工学特別研修など	
応募資格	(1) 博士の学位を有する方。 (2) 本学並びに本研究科の現状を理解し,教育・研究に積極的な方。教職員・学生と円滑にコミュニケーションを取れる方。 (3) 化学工学全般の知識を有し,超臨界流体などの環境調和溶媒とバイオマス変換の研究開発実績を有する方。	
応募書類	(1) 履歴書(形式自由, 写真貼り付けのこと) (2) 研究業績概要(A4版2枚以内)と主要論文5編以内の別刷り(コピー可) (3) 研究業績リスト(査読付き論文, 査読付き国際会議プロシーディングス, 解説・著書, 特許(出願件数:申請中を含む。登録件数, 特許リスト(特許出願・公開・公告 No, 発明者氏名, 発明題目))等 (4) 獲得外部研究資金一覧(代表に限る)ー科研費, NEDO助成, JST等ー(5) 教育業績(担当科目等), 学会活動歴(委員会等), 国内外の学会での基調講演・招待講演等, 社会貢献, 受賞に関する業績一覧表 (6) 今後の研究計画と教育活動に関する抱負(各A4版2枚以内) (7) 照会可能な方2名の氏名と連絡先(住所, 電話, E-mail) (8) 応募者の連絡先(住所, 電話, E-mail)	
着任時期	平成30年4月1日以降できるだけ早い時期	
応募締切	2017年12月25日(必着)	
選考方法	書類及び面接審査で決定します。	
合否連絡	個別に連絡	

書類送付先	〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11 東北大学大学院工学研究科超臨界溶媒工学研究センター センター長 猪股 宏
問合せ先	同上
備考	(1)応募書類は「教員応募」と朱書きし、郵送の場合は書留で郵送してください。 なお、応募書類は返却しませんのでご了承ください。選考の過程で、面接をお願い する場合があります。その際の旅費は応募者負担となりますので、予めご了承願い ます。 (2)提出書類に含まれる個人情報は、選考以外の目的には使用しません。 (3)東北大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。子育て支援の詳細等、 男女共同参画の取り組みについては以下の URL をご覧ください。 http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/

☆○○大学 ○○学部 ○○科 ○○専攻 募集☆

募集人員: 助教1名

任期: 5年(再任可、2回まで)

専門分野: 生物化学工学(化学工学をバイオプロセスに積極的に応用できる方、バイオプロセ

スの学際領域の発展に意 欲的な方を望みます。)

担当授業科目: [大学院博士前期] 専門分野の講義・演習など

[学部] 生物化学工学に関する講義、教養科目、学生実験、演習科目など

応募資格: 1. 博士の学位を有する者(採用時までに取得可能な者を含む)

2. 研究と教育とに、熱意を持って取り組む意欲のある者

応募書類: 1. 履歴書(写真貼付、メールアドレス) 1部

2. 研究業績リスト 1 部(研究費取得状況を含む)

3. 主要論文の別刷3編以内(各1部、コピー可)

4. これまでの研究業績概要および着任後の教育研究への抱負(2000字程度)

5. 責任ある意見を伺える方2名の氏名、所属、連絡先

※ 提出された書類は返却いたしません。

※ 提出された書類は、本公募の選考以外には一切使用いたしません。

着任時期: 採用決定後できるだけ早く

応募 / 切: 平成 20 年 8 月 15 日(金) 【必着】

選考方法: 書類審査による選考の後、必要に応じて面接等を行います。

合否連絡: 連絡は電子メールで行いますので、履歴書中に利用可能なメールアドレスを必ず記

入して下さい。

書類送付先:

問合せ先: